

宮城県感染症発生動向調査情報(第5週)

宮城県【平成25年02月07日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.1.28 ~ 2.3 ・ 第5週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所								宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	患者数	累計	第2週	第3週	第4週	第5週
水痘	6 1.20	12 1.20	5 1.00	1 0.50	3 1.00	11 2.20	1 0.50	30 1.15	69 1.19	400	○→	◎→	◎→	◎
流行性耳下腺炎	1 0.20	9 0.90	3 0.60		1 0.33	9 1.80	2 1.00	10 0.38	35 0.60	152	○→	○→	レ→	○
百日咳					1 0.33			1 0.02	1	1	→	→	→	
感染性胃腸炎	33 6.60	31 3.10	16 3.20	22 11.00	45 15.00	80 16.00	14 7.00	105 4.04	346 5.97	1,650	○→	◎→	◎→	◎
手足口病	2 0.40	1 0.10	10 2.00		1 0.33			1 0.04	15 0.26	64	→	→	→	
伝染性紅斑	4 0.80	2 0.20					5 2.50	11 0.19	38	148	→	→	→	
突発性発しん	1 0.20	6 0.60	5 1.00		3 1.00	3 0.60	1 0.50	16 0.62	35 0.60	148	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ					1 0.33			1 0.02	8	8	→	→	→	
インフルエンザ	268 33.50	431 28.73	214 26.75	63 21.00	115 23.00	236 29.50	74 18.50	1202 28.62	2603 27.99	8,030	○→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱	7 1.40	3 0.30		1 0.50				5 0.19	16 0.28	57	→	→	→	
流行性角結膜炎								3 0.50	3 0.25	9	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10 2.00	23 2.30	1 0.20	1 0.50	4 1.33	24 4.80		34 1.31	97 1.67	341	○→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		1 1.00	4 4.00	1 1.00	1 1.00		20 20.00	6 1.20	33 2.75	119	○→	レ→	○→	○
クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1 1.00						1 0.08	6	→	→	→	
RSウイルス感染症	3 0.60	7 0.70			2 0.67	2 0.40		7 0.27	21 0.36	90	→	○→	○→	レ
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	4	4		1	2	1	6	：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 し、発生が少なくなっている傾向 【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/				
	川崎病							1						
	不明発疹							1						

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 仙南管内 女性1名
 - 塩釜管内 女性2名
 - 大崎管内 男性2名
 - 仙台管内 男性1名、女性1名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: レジオネラ症
 - 仙南管内 女性1名
 - 石巻管内 女性1名
 - 仙台管内 男性1名
- 5類感染症: 報告なし

今週のインフルエンザによる入院患者報告 34例(仙台市を含む基幹定点報告)

今週の感染症のコメント

～宮城県感染症対策委員会情報解析部会～

【インフルエンザ】

仙南、大崎、石巻管内で警報継続中

塩釜、栗原、登米、気仙沼、仙台管内で注意報継続中。

県全体の患者数は横ばい状態となったが、警報継続値を大きく越えている。また塩釜管内や仙台管内など増加した地域もある。さらに、今週新たに栗原管内と気仙沼管内の患者からインフルエンザAH3(A香港型)が検出された。例年の傾向からして流行はしばらく継続すると思われるので十分注意が必要である。

インフルエンザに関する解説や予防法については、厚生労働省の下記「インフルエンザ一問一答」などを参考に
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkakukansenshou01/dl/leaflet20110208_01.pdf

【感染性胃腸炎】

石巻管内で警報継続中。

県全体としては患者数は減少傾向にあるが、患者検体よりノロウイルスに加えて、サポウイルスも検出された。感染性胃腸炎の原因は多様で年間を通じて患者がみられるので、今後も注意が必要である。

【伝染性紅斑】

気仙沼管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より

管内	第5週採取分	インフルエンザウイルス(A(H3)遺伝子2件
栗原管内	第5週採取分	インフルエンザウイルス(A(H3)遺伝子4件
登米管内	第5週採取分	インフルエンザウイルス(A(H3)遺伝子2件
気仙沼管内	第5週採取分	インフルエンザウイルス(A(H3)遺伝子2件
感染性胃腸炎患者より		
大崎管内	第3週採取分	エコウイルス6型1件
栗原管内	第4週採取分	サポウイルス1件
登米管内	第4週採取分	サポウイルス1件
	第5週採取分	ノロウイルス(G II)2件
石巻管内	第4週採取分	サポウイルス1件
気仙沼管内	第5週採取分	ノロウイルス(G II)1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第3週採取分 (1.14～1.20)	第4週採取分 (1.21～1.27)	第5週採取分 (1.28～2.3)
インフルエンザウイルス(A(H3)	7件	7件	0件
インフルエンザウイルス解析中	4件	3件	1件
RSウイルス	3件	4件	6件
Aデウイルス	0件	1件	1件

インフルエンザ関連情報(患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群												総数 (人)
	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)		
2012年 第50週	17.2	25.9	19.0	8.6	5.2	6.9	8.6	3.4	3.4	0.0	1.7	58	
第51週	23.3	26.2	10.7	7.8	8.7	7.8	8.7	1.0	2.9	1.9	1.0	105	
第52週	25.0	23.5	9.1	9.1	9.1	12.9	4.5	3.0	3.0	0.0	0.8	132	
2013年 第1週	26.2	19.2	11.0	6.4	10.5	6.4	5.8	9.9	1.2	0.6	2.9	172	
第2週	23.3	21.0	8.6	5.4	9.5	9.5	8.9	5.9	4.1	1.9	1.7	828	
第3週	21.9	24.0	14.1	6.8	9.5	8.5	6.0	4.4	2.7	1.2	0.9	1,749	
第4週	21.3	28.5	16.7	5.6	5.2	7.7	6.9	4.1	2.4	1.1	0.6	2,850	
第5週	20.3	29.9	16.4	4.8	5.6	8.0	5.9	3.9	2.8	1.3	1.2	2,603	

インフルエンザ定点
点は、内科定点と
小児科定点を合わ
せたもので、県全
体で93定点です。
宮城県:51定点
仙台市:42定点
合 計:93定点

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第3週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別では福島県(38.63)、茨城県(36.18)、群馬県(35.66)、長崎県(34.50)、千葉県(34.17)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は1,663例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は減少した。宮崎県(1.14)、鹿児島県(0.58)、熊本県(0.52)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は減少した。石川県(4.62)、富山県(4.38)、山形県(3.50)が多い。感染性胃腸炎: 報告数は減少した。宮崎県(14.67)、熊本県(13.04)、高知県(11.37)が多い。水痘: 報告数は減少した。沖縄県(2.38)、鹿児島県(2.18)、福岡県(2.02)が多い。手足口病: 報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。福岡県(1.13)、熊本県(0.90)、沖縄県(0.71)が多い。伝染性紅斑: 報告数は減少した。岩手県(0.58)、富山県(0.24)、長野県(0.17)が多い。百日咳: 報告数は減少した。沖縄県(0.09)、石川県(0.07)、佐賀県(0.05)が多い。ヘルパンギーナ: 報告数は減少した。長崎県(0.23)、宮城県(0.10)、福井県(0.09)が多い。流行性耳下腺炎: 報告数は減少した。岩手県(0.88)、山形県(0.77)、福井県(0.73)が多い。マイコプラズマ肺炎: 報告数は減少した。福島県(2.43)、青森県(2.33)、宮城県(2.00)が多い。